

事務事業マネジメントシート(平成29年度実績と平成30年度計画)

平成31年 3月11日更新

事務事業名		統計調査資料活用分析事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	自治の健康			所属部	総務部	課長名	大茂 竜二
	施策	2	行政改革の推進			所属課	企画課	担当者名	富田 大貴
	施策の柱	5	広聴・広報機能の充実			所属班	企画広報班	(内線)	1253
予算科目		会計一般	款 2	項 5	目 1	事業連番 11058	根拠法令	成果優先度評価結果	⑫
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 29年度で終了 <input type="checkbox"/> 29年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)				

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	各統計資料の整理と分析を行ない、ホームページ等広報媒体での公表を行なう。 事業統計資料に対する分析、活用についての需要は年々高まってきており、必要なデータを速やかに分かりやすい形で提供する必要があるため、平成18年度から本格的な事務事業として開始した。 行政からだけでなく、住民からも統計データの需要が増えてきており、必要な情報を分かりやすい形で提供するシステムの構築が必要になってきている。 平成29年3月末現在、市ホームページ上で掲載している情報は、2010農林業センサス結果(概数値) 東洋経済「住みよさランキング」「平成25年度市町村所得推計」「平成27年国勢調査人口等基本集計結果」など。
【業務の流れ】	毎月末統計資料データの更新、専門文献等による学習
【主な予算費目】	
【意見や要望】	閲覧者から、常に最新のデータを提供してほしいとの要望がある。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 29年度実績(29年度に行った主な活動) (DO)	30年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)	
主要基幹統計調査に加え、市民や行政、民間が必要とするデータを収集し、それが活用されるための分析・整理を行ない、最新のデータを公表した。	・主要基幹統計調査に加え、市民や行政、民間が必要とするデータを収集し、それが活用されるための分析・整理を行ない、最新のデータを公表していく。	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
ア: データ作成にかかった日数	日	・予算計上なし
イ: データ更新回数	回	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
・各種統計データ		ア: 各種統計データ数
		イ: 件
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
・適切に整理され、速やかに提示できる。		ア: 適切に提示できなかったデータ数
		イ: 件
*③成果指標設定の理由と30年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
・市民や行政、民間が必要とするデータを収集し、最新のデータを公表していくことが目的であるため。		全体計画
		～ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	27年度実績(決算)	28年度実績(決算)	29年度目標(当初予算)	29年度実績(決算)	30年度目標(当初予算)	31年度予定	32年度見込	33年度見込	
① 活動指標	ア	日	5	5	10	5	10	10	10	10	
	イ	回	6	7	12	10	12	12	12	12	
② 対象指標	ア	件	10	13	20	13	20	20	20	20	
	イ	件	0	0	0	0	0	0	0	0	
③ 成果指標	ア	件	0	0	0	0	0	0	0	0	
	イ	件	0	0	0	0	0	0	0	0	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円								
	人件費	(A) 事業費計	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	1	1	1	0	1	1	1	1
トータルコスト(A)+(B)	延べ業務時間	時間	50	25	100	0	100	100	100	100	
	(B) 人件費計	千円	185	0	398	0	398	398	398	398	
トータルコスト(A)+(B)		千円	185	0	398	0	398	398	398	398	

事務事業名	統計調査資料活用分析事業	所属部	総務部	所属課	企画課
-------	--------------	-----	-----	-----	-----

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は29年度の事後評価、ただし複数年度事業は29年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①29年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 各種統計データの公表にあわせ、市ホームページ掲載の統計データを更新した。
	②30年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 例年通り、各種調査の公表にあわせて市ホームページ掲載データを更新していくため。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 現在、統計資料の整理が十分でない。社会情勢も踏まえつつ、住民にニーズのある情報を提供できるよう、開示する情報の種類や方法に関しても見直していかなければならない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業は無い。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業費はないため、削減余地はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最小限の人数で、可能な限り効率的な業務を行なっている。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 全ての市民に公開する情報であり、公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 行政が持つデータの公表であるため、役割分担は適さない。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

現状では各種統計調査の公表結果をそのまま公表しているが、今後はニーズに応じデータを整理して公表できるようにする。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						